

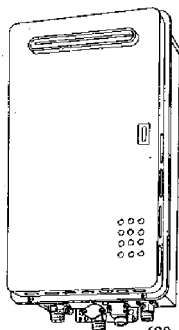
ガス給湯器

33-585/33-589型

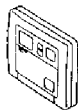
34-890/34-891/34-892型

33-898/33-899型

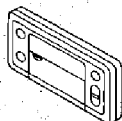
33-765/33-766型



(33-585型)



(台所リモコン)



(浴室リモコン)

〈BL認定品〉

型式名	GQ-1621WX	GQ-3211WX
	GQ-1621RX	GQ-3211WX-T
	GQ-2421WX	
	GQ-2421WX-T	
	GQ-2421WX-TB	
	GQ-2420WX-FFB	
	GQ-2421RX	

もくじ

必ずお守りください(安全上の注意).....	1
各部のなまえとはたらき.....	7
初めてお使いになるときは.....	13
使いかた	
お湯の出しかた.....	15
お湯はりプザーの鳴らしかた.....	19
浴室からの呼び出しかた.....	21
操作確認音の消しかた、鳴らしかた.....	21
冬期の凍結による破損予防.....	22
日常の点検・手入れのしかた.....	24
故障かな?と思ったら.....	25
アフターサービスについて.....	29
主な仕様.....	30

取扱説明書

大阪ガス

このたびは大阪ガスのガス給湯器をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。
- この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

必ずお守りください(安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために

取扱いを誤った場合に危害・損害の程度を、つぎのように区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

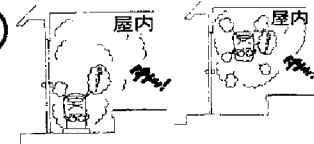
△危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
△注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に、快適に、使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解して正しくお使いください。

絵表示	意味	絵表示	意味
	特定しない一般的な警告・注意		特定しない一般的な禁止
	感電注意		火気禁止
	高温注意		接触禁止
	電源プラグを抜く		分解禁止
	アースの必要		

△危険

屋内設置の禁止(屋外設置形のみ)



●この本体は屋外設置形です。屋内(浴室を含む)への設置は絶対にしないでください。一酸化炭素中毒の原因になります。

△危険

給排気筒のつまり(屋内設置形のみ)



●給排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

ガス漏れ時の処置



火気禁止



ガス漏れに気づいたときは、1~2の処置が終わるまでの間、絶対に

- 火をつけない。
 - 電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。
 - 周辺の電話も使用しない。
- 火や火花で引火し、火災のおそれがあります。
1. すぐに使用をやめ、本体のガス栓を閉じる。
 2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

△警告

使用ガス、電源の確認

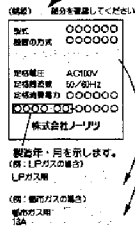


●銘板(ラベル)に表示しているガスの種類以外では使用しないでください。

表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼、点火の時の爆発などの原因になります。

●電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。

●わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



異常時・緊急時の処置

1. 給排水栓を閉める。(使用中の場合)



2. 運転スイッチを「切」にする。



3. ガス栓・給水元栓を閉める。



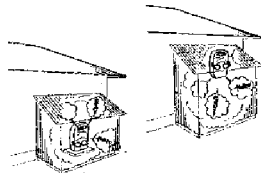
●異常時(排気口から煙が出る、こげ臭いなど)または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。火災・感電・故障などの予防のため。

警告

波板囲いなどの禁止（屋外設置形のみ）



禁止



- この本体は屋外設置形です。増設機などによって、屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。
- 酸化炭素中毒・火災の原因になります。

やけどに注意



高温注意

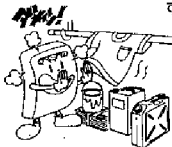


- シャワーなどお湯を使用するときは、手で湯の温度を確かめてから使用してください。やけど予防のため。
- 入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。やけど予防のため。

火災の予防



禁止



- 本体や排気口のまわりに燃えやすい物（新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など）を置かないでください。火災の原因になります。

屋外設置の禁止（屋内設置形のみ）

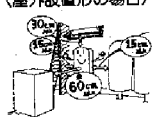


禁止

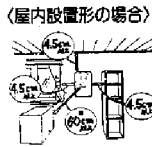
- この本体は屋内設置形です。屋外への設置は絶対にしないでください。
- 雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

周囲の防火措置について

- 〈屋外設置形の場合〉
- 本体のまわりに燃えやすい物（樹木、木材、箱など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。



- 〈屋内設置形の場合〉
- 本体や給排気口のまわりに燃えやすい物（木材、棚、カーテンなどの布、箱など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。火災予防のため。



※アフターサービス上の寸法です。

本体の設置・移動工事は

- 本体の設置・移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用ください。思わぬ事故を予防するため。

注意

やけどに注意



接触禁止



- 排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。特に、小さなお子様のご家庭ではご注意ください。

用途について

- 給湯・シャワー、洗面などの給湯以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。

本体のまわりはきれいに（屋外設置形のみ）

- 本体のまわりはいつもきれいにしておいてください。まわりが雑草、木くず、箱などで雑然としていると、本体の内部にゴミが侵入し、だりクモの集がはったりして、本体の損傷や火災の原因になることがあります。

お願い

感電に注意



感電注意



ぬれた手でさわらないで

- 電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。

アースの確認



アースする!

- この本体はアースが必要ですので確認してください。本体が故障した場合、感電の原因になります。

電源プラグは確実に



- 電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って



禁止



- 電源プラグの抜き差しはプラグを持っておこなってください。電源ケーブルを持って抜くと芯線の一部が新線して、発熱・火災の原因になります。

ガス事故防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

お願い

停電時の処置

- 停電したときは、運転が停止します。
- 停電後、再通電するとリモコンの時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、設定した給湯・お風呂の温度表示なども、お買い上げ時の設定に変わりますので確認してから使用してください。（電源プラグを抜いたときも同じです。）



凍結に注意

- 冬期は、凍結による本体の故障予防のため必要な処置をしてください。（※22ページ）凍結すると水漏れや、故障の原因になります。



長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。（※23ページ）

リモコンの掃除



禁止

- リモコンの掃除にはベンジンや油類系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。故障の原因になります。（台所リモコンは防水タイプではありません。）
- 台所リモコンに炊飯器、電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。

本体・リモコンの分解禁止



分解禁止

- 本体・リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因になります。



温泉水や自家用井戸水を使うと

- 水質によっては、本体内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

お願い

太陽熱温水器との接続禁止

- 太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また本体の故障の原因にもなります。*33-76型は接続できますが、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。

日常のお手入れ

- 浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。湯アタが残っていると、水中に含まれるわずかな銀イオンとせっけんなどに含まれる防腐剤とが反応して、青く変色することがあります。

積雪時の注意

- 積雪時には排気口・給気口の点検、除雪をおこなってください。排気口・給気口への積雪や屋根から落ちた雪により、排気口・給気口がふさがれて不完全燃焼し、本体の故障の原因になることがあります。

排気ガスについて

- 排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。増設薬時も同様にご注意してください。ガラスが割れたり、変色したりする原因になります。

市販の補助用具使用について

- この本体の純正部品以外は使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。（わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください。）

この製品は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると製品の寿命を短くします。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

飲用にお使いのときは

- 長期間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

各部のなまえとはたらき-1

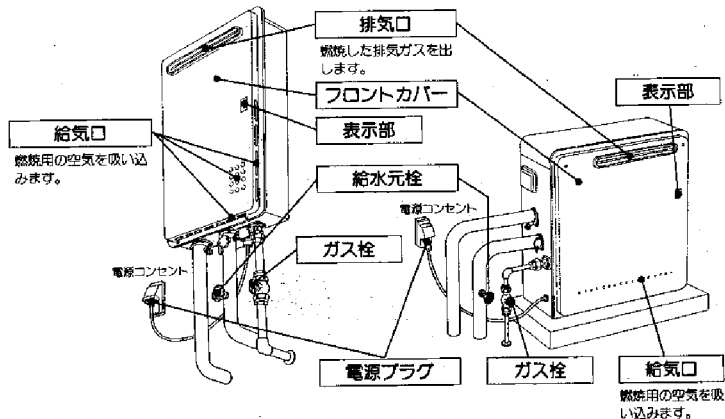
本 体

※下のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

●33-585・94-890型の例

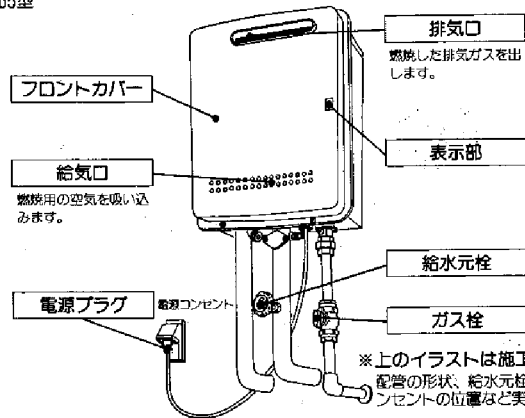
●33-589・-899型の例

※34-890型の場合、配管の位置が
下記のイラストと少し異なります。



本 体

●33-765型



※上のイラストは施工例です。
配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

品名と外観

排気部の形状が異なり設置形態が変わります。

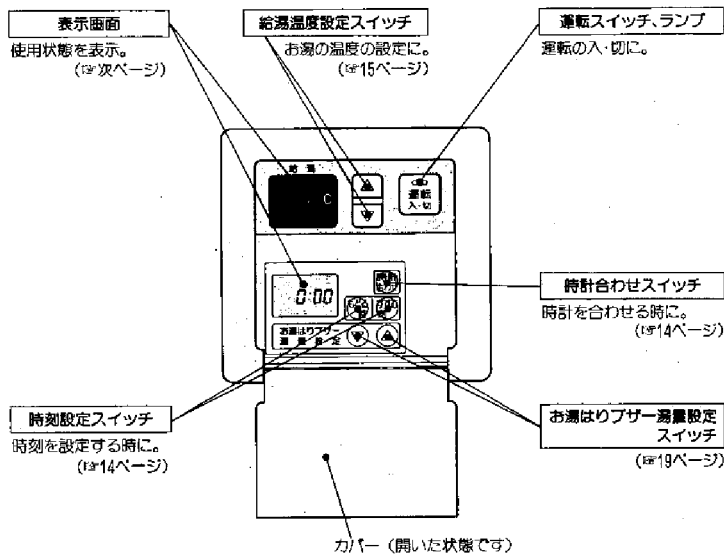
34-891型	34-892型	33-898型	33-766型

各部のなまえとはたらき(本体)

各部のなまえとはたらき-2

台所リモコン

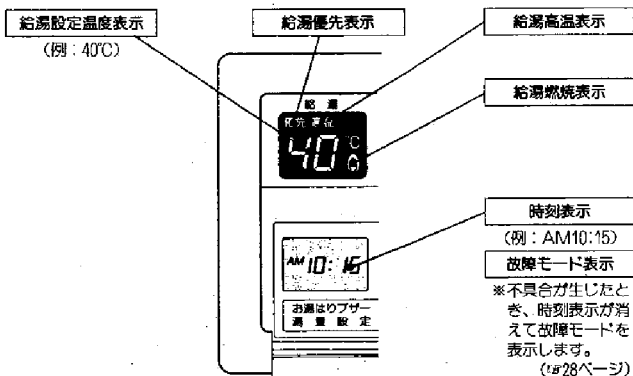
(台所などに取り付けます)



※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



増設リモコン(49-056型)〈別売品〉

寝室やリビングルームなどから
・運転スイッチの「入/切」
・給湯温度の設定
ができます。

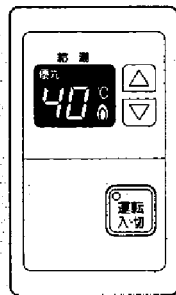
〈給湯温度の設定のしかた〉

「優先」を切り替えてから給湯温度設定スイッチで設定する。(16ページ参照)

●「優先」の切り替えかた

シャワーなどお湯を使用中のときは(表示画面に給湯燃焼表示「炎」を表示しているときは)、「優先」を切り替えないでください。

運転スイッチを押していったん「切」にし、再度運転スイッチを押して、表示画面に「優先」を表示させる。

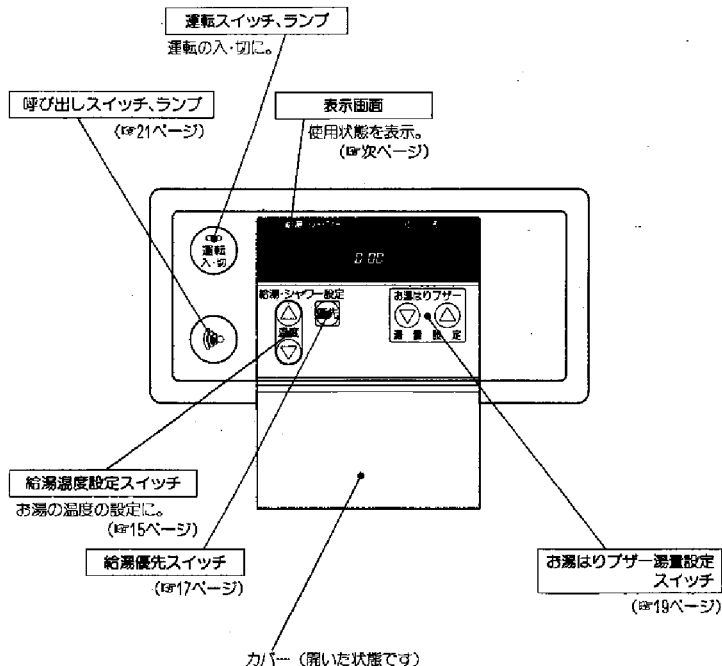


※表示画面は、台所リモコンと少し異なります。

各部のなまえとはたらき-3

浴室(シャワー)リモコン (別売品)

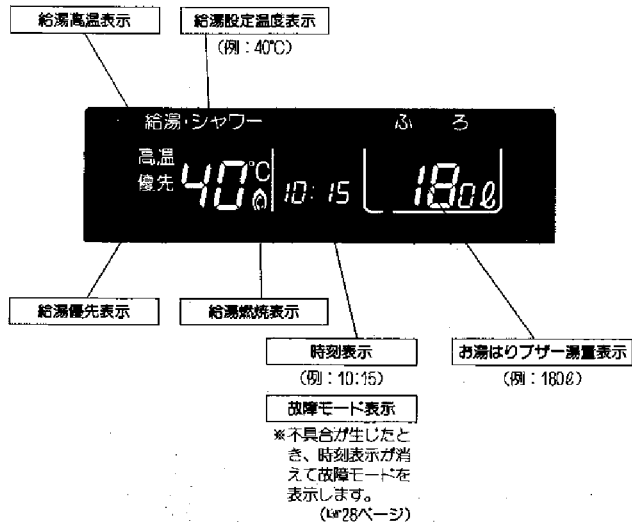
(浴室に取り付けます)



*ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



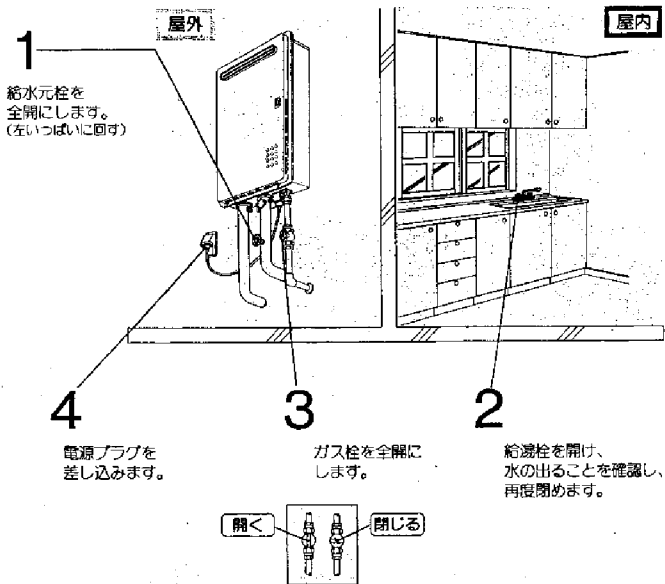
初めてお使いになるときは



初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

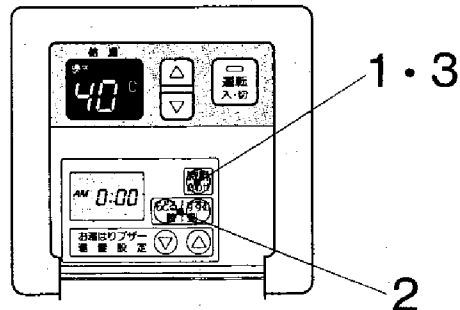
33-585のイラストで説明していますが、他の製品でも同様の手順でおこなってください。

●1～4の手順でおこなってください。



現在時刻を合わせる

運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。
(下の画面表示は運転スイッチ「入」の状態です。)



1 「時計合わせ」スイッチ
押す



「AM 0:00」が点滅。



2 時刻を合わせる



一度押す毎に1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。

例：「午前10時15分」のとき



3 「時計合わせ」スイッチ
押す

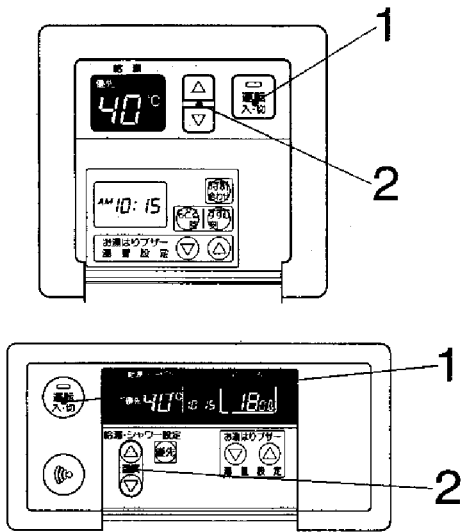


点滅から点灯に変わり、時計が動き出す。



お湯の出しかた-1

ここでは台所リモコンでご説明します。



1 「運転」スイッチを押す

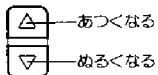
運転スイッチが点灯

ランプが点灯します。

前回に設定した温度 (例: 40°C)

〈一度設定すると記憶します。〉

2 温度を調節する
(変更しない時は、温度を記憶する。)



37~48°Cの間は、一度押す毎に1°Cずつ変わります。

優先表示確認

お湯の温度

41°C

3 給湯栓を開ける



燃焼表示 (点灯) 点灯

41°C

4 給湯栓を閉める



燃焼表示 (消灯) 消灯

41°C

(目安の温度: °C)

37	38	39	40	41	42	43	44
シャワー、給湯など			給湯など		高温		
食器洗いなど							

警告



●シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
やけど予防のため。



●60°C、75°Cに設定したときは「高温」の表示が点滅 (約10秒) 後、点灯してお知らせします。
やけど予防のため。
〈台所リモコン表示画面〉

点滅→点灯

60°C

●シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
やけど予防のため。

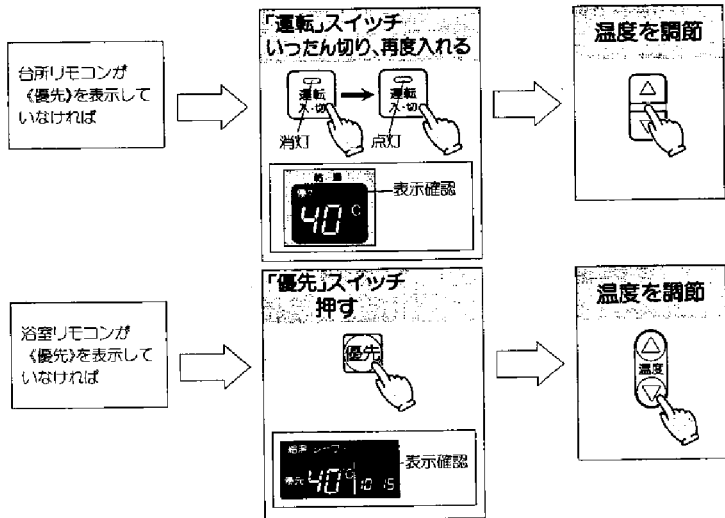


お湯の出しかた-2

《優先》を表示しているリモコンでお湯の温度調節ができます

■ 運転スイッチを入れたほうのリモコンが《優先》になります。

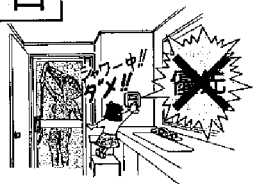
《優先》を表示していないとき《優先》を切り替える



警告

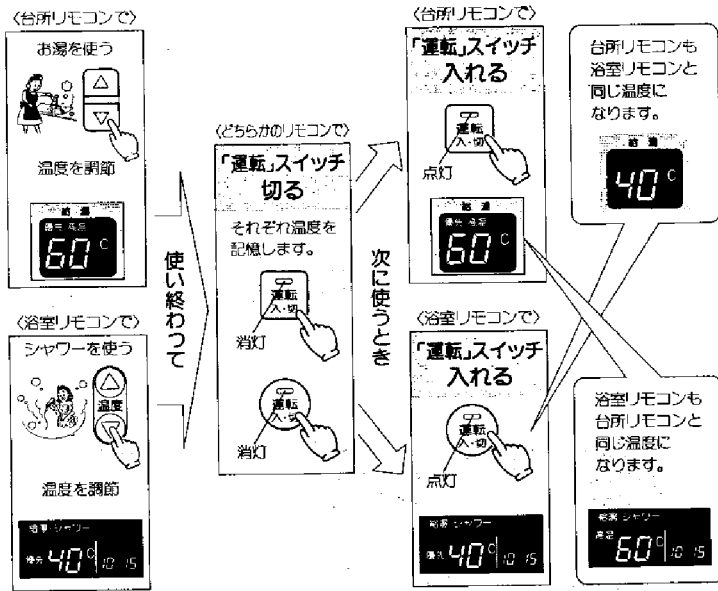


高温注意



- シャワーなどお湯を使用中のときは、他の人は《優先》を切り替えないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。やけど予防のため。

前回に設定したお湯の温度を記憶しています



警告



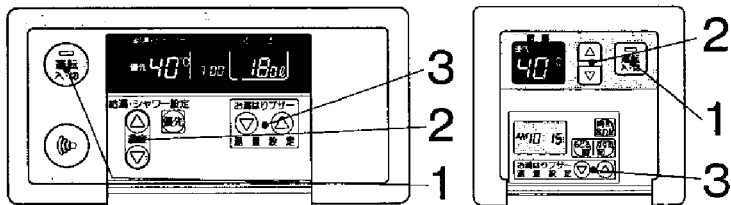
高温注意



- 前に設定したお湯の温度を記憶しているため、60°C、75°Cの高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。表示の温度をよく確かめてから使用してください。やけど予防のため。
- 前に設定した温度が「75°C」のときは、安全のため「60°C」に変わります。

お湯の出しかた-2

お湯はりブザーの鳴らしかた



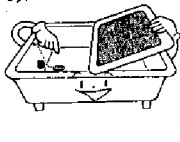
ここでは浴室リモコンでご説明します。

〈一度設定すると記憶します。〉

運転前の準備

1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうのふたをする。

栓をしるふたをしよ。



1 「運転」スイッチを押す



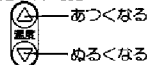
ランプが点灯します。



2 お湯はり温度を調節する (変更しない時は、 温度を確認する。)

「お湯の出しかた-1」(P16)の
2 温度を調節する
と同じ操作です。

前番・シャワー設定



お湯はり温度 (例: 40°C)

●お湯はり中に、台所・他でお湯を使用すると、お湯はり量は使用した分だけ少なくなります。

浴そうにお湯をはる(給湯)とき、お湯の量(給湯量)を設定しておく、とお湯の量になったとき、リモコンのブザーが約10秒間鳴ります。

(自動的にお湯はとまりません。)

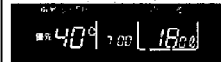


〈一度設定すると記憶します。〉

3 お湯はり量を調節する (変更しない時は、 量を確認する。)

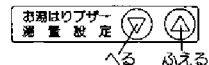


40~260は20ℓ(リットル)きざみ、300、350、400、990ℓの値で調節できます。(目安の量) 990ℓは連続の意味です。お湯はりでブザーは鳴りません。



お湯はり量 (例: 180ℓ)

〈台所リモコンの場合〉



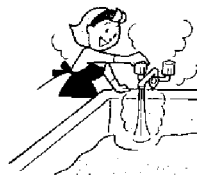
へる へる へる
時計表示がお湯はり量表示に変わります。



お湯はり量(例: 180ℓ)

●3秒後時計表示に変わります。

4 浴そうの給湯栓を開ける

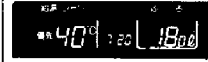


点滅

5 ブザーが鳴れば給湯栓を閉める



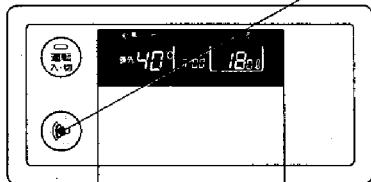
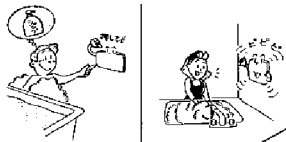
設定量になると、ブザー(ビッピッ音)で約10秒間お知らせします。



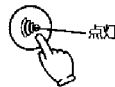
お湯はりブザーの鳴らしかた

使いかた 浴室からの呼び出しかた

(台所リモコンと浴室リモコンがある場合)



「呼び出し」スイッチ
押す

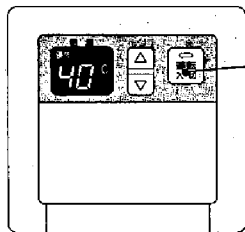


台所リモコンでプザーが約3秒間鳴ります。この間ランプが点灯します。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた 操作確認音の消しかた、鳴らしかた

ここでは台所リモコンでご説明します。



「運転」スイッチ
押し続ける

5秒以上押し続ける。



リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」と音がします。お好みによりこの音を消したり、鳴らしたりできます。



お湯はり量のお知らせプザーおよび、呼び出しプザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

冬期の凍結による破損予防-1



冬期には本体内の水が凍結し、本体を破損することがあります。次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

凍結予防ヒータによる方法



この本体は、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒータが作動して本体内を保温します。

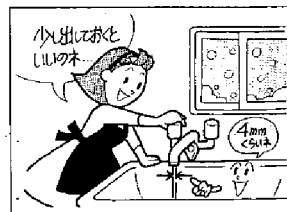
- リモコンの運転スイッチ「入/切」に関係なく作動します。
- 冷え込みが厳しいときや、停電のときは「通水による方法」・「本体内の水を抜く方法」で凍結予防してください。

お願い

- 凍結予防ヒータは、電源プラグを抜くと作動しません。
- 本体内の凍結は予防できても、配管・バルブ類の凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻く等の処置をしてください。(わからないときは、販売店に確認してください。)

通水による方法(冷え込みが厳しいとき)

- この方法は、本体だけでなく給水・給湯配管、バルブ類の凍結も同時に予防できます。



1. 運転スイッチを「切」にします。リモコンがない場合は、電源プラグを抜いてください。
2. ガス栓を開めます。
3. お風呂の給湯栓より少量の水(1分間に約400cc…太さ約4mm)を流しだまましておきます。
4. 流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流れる量を確認してください。

お願い

- この処置をしても凍結する恐れのある場合には、水抜きをおこなってください。(※23ページ)

冬期の凍結による破損予防-2

本体内の水を抜く方法 (冷え込みが厳しいときや、長期間使用しないとき)

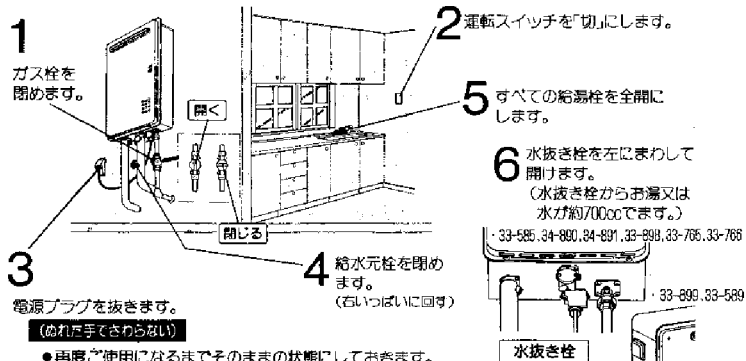
水抜き手順 (33-585のイラストで説明していますが、他の製品でも同様の手順でおこなってください。)

注意



お湯の使用後は、排気口のまわりと本体内のお湯が高温になっていますので、本体が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

●1~6の手順でおこなってください。



●再度ご使用になるまでそのままの状態にしておきます。

再びご使用になるとき

1. 水抜き栓 (2ヶ所) を閉めます。
 2. すべての給湯栓をいったん閉めます。
 3. 13ページの「初めてお使いになるときは」の手順1~4にしたがって使用してください。
- 再通電すると表示画面の給湯温度表示が初期状態に変わりますので再度設定してください。**お願い!**
 - 本体内の凍結は予防できても、配管・バルブ類の凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻く等の処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください。)

凍結したときは

- 凍結した場合は、給湯栓を開いても水は出てきません。解凍を待ってください。
- 水が出るようになって、本体や配管から水漏れがないかよく確認の上、ご使用ください。
お願い!
- 凍結したまま使われますと、本体に異常が生じる場合があります。
- 凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

日常の点検・手入れのしかた



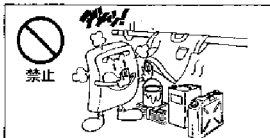
安全にお使いいただくため、点検・手入れを必ずおこなってください。

注意



本体を使用後は、排気口のまわりが高温になっています。
本体が冷えてから、点検と手入れをしてください。
やけど予防のため。

点検 (月1回程度)



- 本体のまわりに燃えやすいものはありません。
- 給気口・排気口がふさがっていません。



- 本体および配管から水漏れはありません。
- 本体の外観に、異常は見られません。

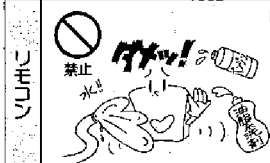
(給湯使用中に点検)
●運転中に本体から異常音が聞こえませんが。

お手入れ (月1回程度)



固くしぼった布で汚れをふきとってください。

- ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変色する場合があります。



固くしぼった布で軽くふきとってください。

- ベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
(台所リモコンは防水タイプではありません。)



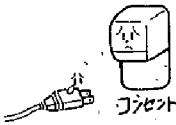


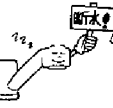
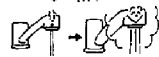



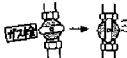
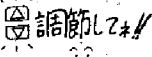

〈定期点検のすすめ(有料)〉

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

冬期の凍結による破損予防②・日常の点検・手入れのしかた

故障かな?と思ったら-1

次のことをお調べください

症状	お調べいただきたいこと	
<ul style="list-style-type: none"> ● 運転ランプが点灯しない。 	<p>停電していませんか?</p> 	<p>電源プラグが差し込まれていませんか?</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ● 給湯栓を開いてもお湯が出ない。 ● 使用中に消火した。 	<p>全開になっていますか?</p> 	<p>断水していませんか?</p>  <p>給湯栓も開いて!!</p>  <p>凍結していませんか?</p>  <p>ガスメータ(マイコンメータ)が作動していませんか?</p> 
<ul style="list-style-type: none"> ● 高温のお湯が出ない。 ● 低温のお湯が出ない。 	<p>全開になっていますか?</p> 	<p>リモコンの給湯温度設定は適切ですか? (P15ページ)</p>  

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	お答えします
<p>給湯栓を絞りすぎて水になった。</p> 	<p>給湯栓から流れるお湯の量が、1分間に約3.5ℓ以下になったとき消火します。</p> <p>★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。</p>
<p>給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。</p> 	<p>本体から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。</p>
<p>お湯が白く濁って見える。</p> 	<p>これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。</p>
<p>寒い日に排気口から白い煙りが出る。</p> 	<p>冬に、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。</p>
<p>本体の水抜き栓(給湯配管側の過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの量出ることがある。</p>	<p>製品の機能上(しくみ)であり、異常ではありません。</p>

故障かな?と思ったら-1

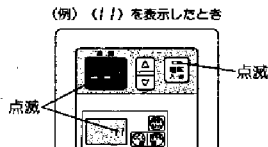
故障かな?と思ったら-2





次のような場合は故障ではありません

こんな場合	お答えします
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブーン)がする。 運転スイッチの「入・切」及び給湯栓を閉めた時に、モータが動く音(カチ、カチ)がする。 	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 再使用時にお湯の温度を早く安定させるためです。
低温のお湯が出ない。 	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
表示画面(液晶)が割れている。 	リモコンをがわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくとも正常に戻ります)
表示画面が点滅表示になっている。 	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、給湯温度表示・お湯はり量表示などもお買い上げ時の設定に、変わる場合がありますので確認してください。

故障モードをお調べください

この本体は不具合が生じたとき、その原因を故障モードで表示(点滅)する機能があります。
 下表に応じた処置をおこなってください。
 (台所リモコンは運転ランプも点滅します。)



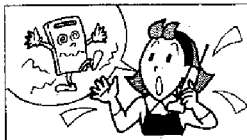
表示	原因	処置
01	運転60分以上連続運転  給湯を連続30分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示が出なければ正常です。 
11	給湯機  給湯機(燃焼)を検出できなかったため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開き、表示が出なければ正常です。 
99	燃焼の燃焼に異常が生じました	修理を依頼してください。

下記の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大販店にご連絡ください。
 ●上記以外の表示(例: 61など)が出るとき
 ●上記の表示が連続しても繰り返し出るとき
 ●その他、わからないとき

故障かな?と思ったら-2

アフターサービスについて

サービスを依頼される時



- 25~28ページの「故障かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

連絡していただきたい内容

- ・品名……………33-585-33-589-34-800-34-801-34-802-33-898-33-899-33-705-33-766型
(下記のようなラベルを本体の正面左下に貼付けてあります。)

(別)

(N) 33-585(U)

大阪ガス株式会社 [09]

- ・お買い上げ日……(保証書をご覧ください)
- ・異常の状況……(故障モードの表示など、できるだけ詳しく)
- ・お名前・ご住所・電話番号
- ・訪問ご希望日

保証について

- この製品には保証書がついています。必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管しておいてください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。但し、最低保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

- 転居などで本体を移設されるときは、本体(銘板)に表示してあるガスの種類・電線(電圧・周波数)が、移設先と合っているか、必ずご確認ください。不明の際は、移設先のガス事業所、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。
- ガスの種類などの異なる地域へ移設されるときは、本体の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様-1

仕様表

項目名	33-585型	33-589型	補足説明
型式名	GQ-1621WX	GQ-1621RX	銘板に記載している名称
設置の方式	屋外設置形		屋外に設置して用いるもの
燃焼方式	先止め式		高燃速の燃焼で着火・消火できる燃焼の本体を示す
点火方式	放電点火式		放電火花による点火方式
水使用水圧	78.5~981kPa(0.8~10.0kgf/cm ²)		使用できる水圧を示す
圧作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm ²)		本体が作動する水圧を示す
最低作動流量	3.5ℓ/分		本体が作動する流量を示す
外形寸法	高さ600mm×幅350mm×奥行170mm	高さ630mm×幅500mm×奥行200mm	本体の外形寸法を示す
質量(本体)	20kg	24kg	本体の質量を示す
接続口径	R1/2		ガス配管との接続口径を示す
電圧	AC100V (50/60Hz)		本体で使用できる電圧
定格消費電力	52W/52W		動作時の消費電力を示す
調電気圧	125V		運転時に一定の調電能力を示す
設置高	1.8m		本機の電線ケーブルの長さを示す
安全機能	立消え安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		各安全装置の名称

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量 [最大消費量]	出湯能力(最大時)(ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用13A	34.9kW (30,000kcal)	16.0	10.0
LPGガス用	34.9kW (2.5kg/h)	16.0	10.0

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

アフターサービスについて・主な仕様1

主な仕様-2

仕様表

製品名	34-890型	34-891型	34-892型	補足説明
	型式名	GQ-2421WX	GQ-2421WX-T	GQ-2421WX-TB
設置の方式	屋外設置形			屋外に設置して用いるもの
給湯方式	先止め式			設置時の用途で点火・点火できる種類の名称を表示
点火方式	放電点火式			放電点火による点火方式
使用水圧	78.5~981kPa(0.8~10.0kgf/cm ²)			使用できる水圧を示す
圧作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm ²)			本体が作動する水圧を示す
最低作動流量	3.5ℓ/分			本体が作動する流量を示す
外形寸法	高さ600mm×幅350mm×奥行200mm			本体の外形寸法を示す
質量(本体)	22kg		23kg	本体の質量を示す
接続口径	給湯	R3/4		各配管との接続口径を示す
	給水	R3/4		
	ガス	R1/2		
電源	AC100V (50/60Hz)			本体を使用できる電圧
定格消費電力	60W/60W		72W/72W	定格消費電力の消費電力を示す
電気ヒータ	125W			電気ヒータの消費電力を示す
電源ケーブルの長さ	1.8m			本体の電源ケーブルの長さを示す
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置			各安全装置の名称

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量 [最大消費量]	出湯能力(最大時)(ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用13A	52.3kW (45,000kcal)	24.0	15.0
L.P.ガス用	52.3kW (3,75kcal/h)	24.0	15.0

- 34-891, 34-892型については、ガス種13Aのみ生産しています。
- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

製品名	33-899型		補足説明	
	型式名	GQ-2421RX		銘板に記載している名称
設置の方式	屋外設置形		屋外に設置して用いるもの	
給湯方式	先止め式		設置時の用途で点火・点火できる種類の名称を表示	
点火方式	放電点火式		放電点火による点火方式	
使用水圧	78.5~981kPa(0.8~10.0kgf/cm ²)		使用できる水圧を示す	
圧作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm ²)		本体が作動する水圧を示す	
最低作動流量	3.5ℓ/分		本体が作動する流量を示す	
外形寸法	高さ630mm×幅500mm×奥行200mm		本体の外形寸法を示す	
質量(本体)	26kg		本体の質量を示す	
接続口径	給湯	R3/4		各配管との接続口径を示す
	給水	R3/4		
	ガス	R1/2		
電源	AC100V (50/60Hz)		本体を使用できる電圧	
定格消費電力	60W/60W		定格消費電力の消費電力を示す	
電気ヒータ	125W		電気ヒータの消費電力を示す	
電源ケーブルの長さ	1.8m		本体の電源ケーブルの長さを示す	
安全装置	立消え安全装置、空だき防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		各安全装置の名称	

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量 [最大消費量]	出湯能力(最大時)(ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用13A	52.3kW (45,000kcal)	24.0	15.0
L.P.ガス用	52.3kW (3,75kcal/h)	24.0	15.0

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様-3

仕様表

製品名	33-898型	補足説明 当社の製品名を示す
型式名	GQ-2420WX-FFB	図面に記載している名称
設置の方式	屋内設置形	図面に設置して用いるもの
給湯方式	先止め式	給湯時の瞬間で着火・消火できる構造の本機を示す
点火方式	放電点火式	放電火花による点火方式
使用水圧	78.5~981kPa(0.8~10.0kgf/cm ²)	使用できる水圧を示す
作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm ²)	本体が作動する水圧を示す
最低作動流量	3.5ℓ/分	本体が作動する流量を示す
外形寸法	高さ640mm×幅350mm×奥行240mm	本体の外形寸法を示す
質量(本体)	21kg	本体の質量を示す
接続口径	給湯 R3/4 給水 R3/4 ガス R1/2	各配管との接続口径を示す
電源	AC100V (50/60Hz)	本体を使用できる電源
定格消費電力	76W/76W	運転時(最大)の消費電力を示す
電気ヒータ	125W	運転時ヒータの消費電力を示す
電源ケーブルの長さ	2.0m	本体の電源ケーブルの長さを示す
安全装置	打消え安全装置、空焚き防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置	各安全装置の名称

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量 [最大消費量]	出湯能力(最大時)(ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用13A	52.3kW (45,000kcal)	24.0	15.0

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

製品名	33-765型	33-766型	補足説明 当社の製品名を示す
型式名	GQ-3211WX	GQ-3211WX-T	図面に記載している名称
設置の方式	屋外設置形		屋外に設置して用いるもの
給湯方式	先止め式		給湯時の瞬間で着火・消火できる構造の本機を示す
点火方式	放電点火式		放電火花による点火方式
使用水圧	78.5~981kPa(0.8~10.0kgf/cm ²)		使用できる水圧を示す
作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm ²)		本体が作動する水圧を示す
最低作動流量	3.5ℓ/分		本体が作動する流量を示す
外形寸法	高さ630mm×幅500mm×奥行240mm	高さ615mm×幅464mm×奥行240mm	本体の外形寸法を示す
質量(本体)	28kg		本体の質量を示す
接続口径	給湯 R3/4 給水 R3/4 ガス R3/4(13A), R1/2(LPガス)		各配管との接続口径を示す
電源	AC100V (50/60Hz)		本体を使用できる電源
定格消費電力	87W/87W	104W/104W	運転時(最大)の消費電力を示す
電気ヒータ	135W		運転時ヒータの消費電力を示す
電源ケーブルの長さ	1.8m		本体の電源ケーブルの長さを示す
安全装置	打消え安全装置、空焚き防止装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		各安全装置の名称

能力表

使用ガス	1時間当りのガス消費量 [最大消費量]	出湯能力(最大時)(ℓ/分)	
		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス用13A	69.2kW (59,500kcal)	32.0	20.0
LPガス用	69.2kW (4,94kWh)	32.0	20.0

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
- ・但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。